

頑張っています！ KESTES奨学生 2012年度2学期 成績精査結果報告

奨学生名(担当隊員)

①学年②支援継続の有無③成績

ブライアン オチング(湊)

①Form4②継続③B-

(学年8位/134人中)

オデロ ファレシュ(木内)

①Form2②継続③B+

(学年117位/497人中)

モイ ティベリアス(松原)

①Form3②継続③B+

(学年97位/433人中)

ジェーン ンジェンガ(松田)

①Form4②継続③B+

(学年2位/79人中)

ピーター カピロ(加藤)

①Form4②継続③B

(学年7位/76人中)

ナンゴリ ヘンリー(望月)

①Form3②継続③C

(学年74位/310人中)

ポニファス ムウイカ(馬淵)

①Form1②継続③B+

(学年6位/181人中)

ムワンギ キニュー(松田)

①Form1②継続③N/A

イベント報告

5月-9月間も様々なイベントを行いました。「KESTESは走り続けます！」



ソトコマラソン(7/8)

高橋尚子選手も参加した「ソトコマラソン」に、KESTESブースを出展しました。ブース販売やその他チャリティー企画にて、寄付金32,075Kshが集まりました。ご協力いただいた皆様どうもありがとうございました。

(写真:参加したKESTESメンバーによるピラミッド)



奨学生との食事会(7/14)

キスム、ビクトリア湖の畔にあるレストランで、ケニア西部地域で学校生活を送るKESTES奨学生との食事会が開かれました。普段の学校の生活や将来の夢について語ってもらい、大変有意義かつ楽しい会となりました。

(写真:前列左から、ファレシュ、ヘンリー、ティベリアス)



ふれあい祭り(9/22)

日本人学校で行われた「ふれあい祭り」にも、KESTESブースを出展し、チャリティービンゴ大会を実施しました。こちらでは、寄付金11390kshが集まりました。

(写真:チャリティービンゴ大会の様子)

今後のイベント予定

12月 キホロ博士との食事会

会計報告

(2012年8月残高)

OKSH 307,191

OUUSD 4,306

新KESTES奨学生1名誕生

9月に行われた第二回定例総会において、新たに一名の奨学生を支援することが決まりました。

チャロ・レミック・トーヤ君(19歳)

担当者:岸隊員(23-2)

所属校:MAJENJENI SECONDARY SCHOOL

成績:B(学年2位/28人中) KCPE:360

学年:Form 2

学費:Ksh34,350



トーヤ君

5人家族の長男のトーヤ君。父親は放火によって亡くなっており、母親が炭を作って売ることによって家庭を支えている状況です。学校では学費が払えず家に帰されることもある不利な状況下でありながら、努力して良い成績を維持しています。とある事件の濡れ衣を着せられ岸隊員の配属先のリマンドホームに所属したものの、無実が証明され現在の学校へ復学しました。リマンドホームでの彼の態度や彼の昔の学校の先生も心配して会いに来るなど、人柄も優れていることが分かりました。将来の夢は「弁護士になり家族や村人や障害のある人をサポートすること」と語ってくれたトーヤ君。彼のような無実の罪で捕まった子が今後不利な状況にならないためにも、彼の弁護士になるという夢をKESTESで暖かく応援していきます。

KESTES卒業生のその後

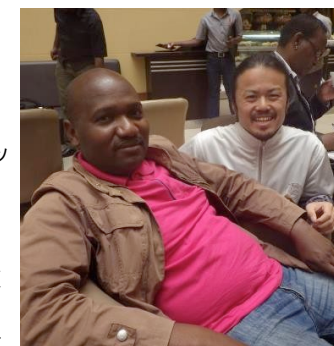
学校を卒業した後、KESTES奨学生はどのような人生を歩んでいるのでしょうか？今回は、一人の元奨学生をご紹介します。

名前:ギルバート・オンガチ

支援年度:1994-1997

卒業校:Bukolwe Mixed Secondary School

セカンドリースクール卒業後、ナイロビのカレッジに進学し、Diplomaを取得しました。その後、ジャーナリストになる夢を叶えて現在はラジオ局で働く一方、モイ大学に通い学士号の取得を目指しています。いつまでも努力を続ける彼の姿はきっと現奨学生の励みになると思います。今後も卒業生のその後をご紹介します。



左:ギルバートさん、右:湊隊員

ジェーンの日常

奨学生の日常紹介

オチングの日常

ジェーンは、全寮制の女子高に通うForm4（高校3年生）です。学校では、朝の自習時間と通常授業の後に、ジャーナリズムクラブと数学クラブで活動しています。夜間も教室に残って予習復習に励んでいます。得意科目は数学と英語で、クラブでの頑張りも相乗して、数学の成績も上がっており、学年2位のポジションを維持しています。

彼女の夢は、医者になることです。それは長い間のスラム生活の中で、病気で苦しむ人達を間近に見てきたからです。その夢を実現するには、KCSE（セカンダリー卒業時に行われる全国統一テスト）で好成績を収めなければなりません。政府による奨学金は、Grade Aを獲得した生徒から優先的に支給されます。彼女の家庭では、奨学金なしに大学へ進学させることはできません。この夢への唯一の道に向かって、ジェーンは今、必死に勉強しています。もし医学部に進学した場合は、他国へのインターン制度を利用して、ぜひ日本を訪れたいということです。今は勉強漬けの毎日ですが、それ以外の世界があることを彼女はよく分かっています。この試練を乗り越えて、自身とそれに続くスラムの子ども達の将来を力強く切り拓いてほしいと思います。

(22-3松田隊員筆)



左:ジェーンの母、中央:浅海隊員、
右:ジェーン

今年が最終学年のブライアン・オチング。彼の日常は朝が早いというか、むしろ日本人からしたら夜遅くから始まります。起床時刻は平日なら大体夜中2時半から3時頃。そこから朝までは自習時間。11月に控えたKCSEに向けて問題集を解いたりしています。それから学校の授業があり、夕方は彼のわずかなりフレッシュの時間。筋トレをして体を鍛えています。以前はこの時間を利用して円盤投げの練習をしていましたが、今は体がなまらないように筋トレする事がメイン。晩ご飯を寮で食べた後は再び自習。毎日21時頃には就寝。驚く程の努力で今成績は何とB-に向上。11月のKCSEまでに益々成績が伸びる事を期待します。

いつも真面目なオチング。彼に「彼女は作らないの?」と聞くと恥ずかしそうに笑いながら「学生の本分は勉強だから僕には必要ない」との返答。本当に真面目。長期休暇中は出身のオザヤ更正学校で過ごし、その生徒に勉強を教えたり、生活全般の面倒を見たりと生徒のお兄さん役。KESTESメンバーが訪問すると、具合の悪い生徒の為にフルーツを買って欲しいと言う本当に優しい心根の持ち主。将来の夢は学校の先生。今年でKESTESの支援は終わりますが彼のこれからの人生をずっと応援しようと思います。

(23-1湊隊員筆)



オチング

Mpata LodgeにてTシャツ・ポロシャツ販売開始

マサイマラ国立公園の5つ星ホテル『Mpata Lodge (ムパタ ロッジ)』から協賛いただき、2012年8月より Tシャツ・ポロシャツの販売コーナーを開設しました。入り口にはパンフレットを飾っていただき、これを通してKESTESの活動をより多くの人に知っていただけるのではないかと思います。マサイマラ国立公園にお越しの際はMpata LodgeのKESTESコーナーにお立ち寄りいただけたら幸いです。



入り口に大きく張られたパンフレットの様子



Tシャツ展示の様子

新デザイン♥Kenya Tシャツ&ポロシャツ 近日発売予定!!

Tシャツ 1枚1,000Ksh
ポロシャツ1枚1,500Ksh



*袖にKESTESのロゴが入ります

KESTES委員21名・奨学生9名(2012年10月現在)
Kenya Students' Educational Scholarship

HP: <http://jocvkestes.wordpress.com> 問合せ先: kesteskenya@gmail.com 執筆: 荒牧真以 (23-1)
福田美紗子 (23-2)